

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Ni二色の浜アイズプラント	階数	地上2F
建設地	大阪府貝塚市二色中町	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,200時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年7月24日
敷地面積	仮想敷地 3,850㎡	作成者	りんかい日産建設(株)一級建築
建築面積	1,501㎡	確認日	-
延床面積	2,809㎡	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 93%

③ 上記+②以外の: 93%

④ 上記+: 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>製氷工場としての高品質、更新性、拡張性を十分に確保できる計画とした。</p> <p>建物は熱の流出入の抑制、周辺への騒音や光の漏れ防止のため、外壁開口部は最小限の計画とした。</p> <p>周辺環境に対しては緑地を設け景観にも配慮する計画とした。</p>	
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>-</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。</p>
<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。</p>	
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>OAフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。</p>
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0063

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	Ni二色の浜アイスプラント						
	建設地	大阪府貝塚市二色中町						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.2	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.7	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。						